

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科／食品開発科学科		
科目名称	教育課程論					授業形態	講義		
科目コード	750065	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岩田 賢士							ICT活 用	○
授業概要	<p>「教育課程論」の教育課程（カリキュラム）は、学校教育の中核をなすもので、各学校の教育目標（教育活動全て）を具現化するためのものである。この科目においては、高等学校での現場経験を生かしながら進めて行く。以下、主な内容である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育目標と教育課程について（法的根拠を含む）</li> <li>2. 教育課程の役割・機能・意義について</li> <li>3. 教育課程編成と教科・科目の関係</li> <li>4. 教育課程に関する歴史</li> <li>5. カリキュラムマネジメントとは</li> </ol> <p>などを学ぶ。 学びに際しては、現行の学習指導案を参考にして進めていく。</p>								
関連する科目	教育課程に関しては、学校教育の中核であるので教職課程全ての科目が関係している								
授業の進め方 と方法	<p>※以下の様な授業方法を組み合わせて授業を展開していく。</p> <p>○一斉授業・・・各講義毎に授業資料を作成し、それを活用して授業を進め、必要に応じてディスカス。</p> <p>○ワークショップ・・・課題を提示してグループ活動を行う。（グループ討議・発表・意見交換）</p> <p>○プレゼンテーション・・・プレゼンテーションを作成し、それを発表する。</p> <p>★各実践の中でICT活用を図る</p>								
授業計画 【第1回】	1. 学校とは ・学校の果たす役割について、教育課程の観点から考える								
授業計画 【第2回】	2. 教育の目的・目標 ・教育の目的・目標を教育法規の視点から考える								
授業計画 【第3回】	3. 学校教育目標について ・具体的な事例を挙げて、近年の学校目標について考える								
授業計画 【第4回】	4. 教育課程（カリキュラム）とは何か。 ・学校教育目標と教育課程の関係性について考える。 ・教育課程編成の法的基準について								
授業計画 【第5回】	5. 学習指導要領について I ・学習指導要領の変遷 ・学習指導要領概要について								
授業計画 【第6回】	6. 学習指導要領について II ・現行学習指導要領のねらい								
授業計画 【第7回】	7. 学習指導要領 III ・学習指導と学習評価の一体化について								
授業計画 【第8回】	8. 教育課程（カリキュラム）の編成 I ・各教科・科目について								
授業計画 【第9回】	9. 教育課程（カリキュラム）の編成 ・総合的な探求の時間 ・特別活動 ・道徳								
授業計画 【第10回】	10. カリキュラムマネジメント ・カリキュラムマネジメントとは何か、その必要性は。								
授業計画 【第11回】	11. 教育課程の構造化 ・教育課程の体系的・系統的な流れを検証する								

授業計画 【第12回】	1 2. 教育課程の歴史 ・現在に至るまでの教育課程の歴史を知る
授業計画 【第13回】	1 3. 教育課程に関係する思想家 ・ルソー ・ペスタロッチ ・デューイ
授業計画 【第14回】	1 4. 各学校の教育課程表を検証する ・いろいろな教育課程表を見比べて、検証する。
授業計画 【第15回】	1 5. 講義のまとめ ・ポートフォリオ作成
授業の到達目標	1. カリキュラムの概念とその構成の把握 2. 学習指導要領の理解とその活用方法の把握
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	次回の内容について、シラバスを見て、若しくは指導教官の指示により関連情報を収集しまとめる（20時間）
授業時間外学習【復習】	・各講義の内容を補完するために講義中に配布した参考資料を使って復習を行う。（10時間） ・課題レポートの提出を求めするので、しっかりと調べ学習を行い自分の意見をまとめる。（10時間） ・科目に関する課題を見つけ、書籍・インターネットを活用して解決する。関連する書物を読む（10時間） ・ユニバで事前に送られてくる資料に関して取り組む（10時間） ※講義は、2単位なので予習と復習で60時間以上の講義外学習を行うこと。
課題に対する フィードバック	1) 毎回講義後にレポートを出し、提出させる。そのレポートを採点し、返却する。 ※レポートは、講義翌週の火曜日までに出す。 2) テストを実施し、それを返却する。 3) 提出レポートに教員への要望・質問欄を作り、そこに書かれていることに回答する 4) 個人的な課題等については、時間外に個別対応する。 ※以上の様な取り組みのまとめとして、ポートフォリオを作成させる。
評価方法・基準	★この講義に関しては、4/5以上の出席がのぞましい。 1 平常点・・・授業中の態度など取組状況 (30点：小テスト・課題レポート・授業中の態度等を含む) 2 レポート点・・・毎授業後の提出レポートを提出（30点：提出期限を厳守すること、遅れると減点することもあります） 3 テスト点・・・テスト（40点） ※場合によっては、期末テストをレポートに代えることがある。 4 年間を通して行う講義なので、再テストはしない。
テキスト	高等学校学習指導要領（平成30年告示）総則編 高等学校学習指導要領解説（農業）平成30年告示 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料等
参考書	
備考	